



私は18年前、「健康増進」と公園の美化を目的として、ラジオ体操を立ち上げた。わが町は、40年前に群馬県企業局が抽選により土地を提供して、北は北海道から南は九州までの出身の人々が暮らす700戸からなる町で、さまざまな職業に就いてきた集まりである。また、65歳以上の人が半数を占める町でもある。

さわやかラジオ体操

東日本鉄道OB会 高崎地本前橋支部
金子 侑司

この町において、「孤立化」を防ぎ、「居場所」づくりのために、何が一番大切なと考えた結果、ラジオ体操だと気づき、これを継続して行っている。私は会長として毎朝30分前に公園へ行き、会場を箒で

に旨い。

パーティーは、カラオケで歌を唄う人や手品を披露してくれる人がいたりするが、私は十八番のハーモニカで、童謡からクラシックまでの名曲を何本かの種類のハーモニカで独

奏する。披露する舞台は軽自動車の荷台で、実に楽しい。

最後に、さわやかラジオ体操をみんなで行うことにより「健康」になって、これこそが宝であり何をするにもこれが「源」になっている。長寿の要因はラジオ体操の継続が大きな要因になっている。命の続く限り、「継続は力なり」をモットーに、我々一同はこうした取り組みを続けていく覚悟である。

行っている。

こうしたイベントを、30人くらいのラジオ体操のメンバーで毎年行っている。女性も10人くらいいて、漬物、手作りのお菓子、お茶などを持参して、よく気が付く仲間である。ラジオ体操後の一杯のコーヒースは実に旨い。

そんな中、仙台市北

部の泉区と富谷市を併せた令和8年の新年会には12名が集まった。会場は、仙台市地下鉄南北線の終点・泉中央駅近くの居酒屋。長テーブルを囲み、片側6名ずつが向かい合う形で座ると、全員が同じ話題を共有できる、

新年懇親会の話あれこれ

東日本鉄道OB会 仙台地本仙台支部
赤塚 吉雄

さらには、異色の職歴を持つ会員の話も興味深かった。電気通信の学校を卒業後、青函連絡船に就職し通信業務に従事。当時の国鉄は青函航路、宇高航路、宮島航路を運航していた。現在も続く宮島航路は観光輸送が主だが、管理する広島支社では貨物輸送も行っていたという。航路間の助勤があつて、この会員は広島支社への助勤を命じられ、北九州から川崎へ石炭を運ぶ輸送船に乗務した。北九州には国鉄直轄の志免鉱業所があり、そこで採掘された石炭を、同じく国鉄直轄の川崎火力発電所へ、石炭輸送船・宗谷丸で運んでいたのである。当時の国鉄は、鉄道輸送を支えるために必要な周辺業務を幅広く直轄で担っていた。外部能力を活用する今から見れば、雲泥の差であろう。

乗務するため「後ボウ」。対して、最前部の機関士は「前ボウ」と呼ばれていたという。では「ボウ」とは何か。鉄道員の象徴である帽子の「帽」説と、列車防護の「防」説の二つが紹介された。どちらももつともらしく、他の説は出なかった。

私がとても尊敬していた先輩がおられた。その方は多くの要職を歴任されたにもかかわらず、ニックネームの「ぞうさん」と呼ばれることを気に入っておられて、亡くなるまで皆

がそう呼ぶことを許容して認められるほどに成長した。十回は声を出して笑おう。「百吸」は、一日に百回深呼吸をしよう。等々。書き写しを続けている。難しいのは「十笑」だが、最近、娘夫婦と同居したことにより、孫との触れ合いの中でささやかな笑いを得ている。これを日々積み重ねることにより、先輩に感謝しながら、認知症予防にもなるという自己満足の日々を送らせてもらっている。朝起きて、さて今日は何をしようかと思われ方には、この言葉をお勧めしたいと思います。

退職後は、鉄道OB会の発展のために私の所属する支部を設立され、特に会員増強の必要性から、各種同好会の活性化に力を入れられた結果、近隣の支部では最も活発な活動をしている支部と

「二読、十笑、百吸、千字、万歩」

西日本鉄道OB会 大阪地本大阪北支部

湯浅 ひとし

私がとても尊敬していた先輩がおられた。その方は多くの要職を歴任されたにもかかわらず、ニックネームの「ぞうさん」と呼ばれることを気に入っておられて、亡くなるまで皆

行っている言葉がある。それは「一読、十笑、百吸、千字、万歩」である。そこで私は、「一読」は新聞を隅から隅まで読み、「百呼」と「万歩」は近所のゴミ拾いや散

一万歩をめざして歩くということである。そこで私は、「一読」は新聞を隅から隅まで読み、「百呼」と「万歩」は近所のゴミ拾いや散

インストラクター紹介

ハイキングインストラクターとしての活動

東日本鉄道OB会 大宮地本蓮田支部 櫻井 一義

私は、会員相互間のコミュニケーションづくり、明らかな楽しいOB会、さらに健康管理のために、各種レクリエーション活動に取り組むとともに、OB会組織の活性化に取り組んでいます。ハイキングやグラウンドゴルフ、カラオケ等、誰でも参加できるレクリエーションを実施して、会員相互間の親睦を図り、私は妻と五

私は、会員相互間のコミュニケーションづくり、明らかな楽しいOB会、さらに健康管理のために、各種レクリエーション活動に取り組むとともに、OB会組織の活性化に取り組んでいます。ハイキングやグラウンドゴルフ、カラオケ等、誰でも参加できるレクリエーションを実施して、会員相互間の親睦を図り、私は妻と五

私は、会員相互間のコミュニケーションづくり、明らかな楽しいOB会、さらに健康管理のために、各種レクリエーション活動に取り組むとともに、OB会組織の活性化に取り組んでいます。ハイキングやグラウンドゴルフ、カラオケ等、誰でも参加できるレクリエーションを実施して、会員相互間の親睦を図り、私は妻と五

私は、会員相互間のコミュニケーションづくり、明らかな楽しいOB会、さらに健康管理のために、各種レクリエーション活動に取り組むとともに、OB会組織の活性化に取り組んでいます。ハイキングやグラウンドゴルフ、カラオケ等、誰でも参加できるレクリエーションを実施して、会員相互間の親睦を図り、私は妻と五

私は、会員相互間のコミュニケーションづくり、明らかな楽しいOB会、さらに健康管理のために、各種レクリエーション活動に取り組むとともに、OB会組織の活性化に取り組んでいます。ハイキングやグラウンドゴルフ、カラオケ等、誰でも参加できるレクリエーションを実施して、会員相互間の親睦を図り、私は妻と五

私は、会員相互間のコミュニケーションづくり、明らかな楽しいOB会、さらに健康管理のために、各種レクリエーション活動に取り組むとともに、OB会組織の活性化に取り組んでいます。ハイキングやグラウンドゴルフ、カラオケ等、誰でも参加できるレクリエーションを実施して、会員相互間の親睦を図り、私は妻と五

私は、会員相互間のコミュニケーションづくり、明らかな楽しいOB会、さらに健康管理のために、各種レクリエーション活動に取り組むとともに、OB会組織の活性化に取り組んでいます。ハイキングやグラウンドゴルフ、カラオケ等、誰でも参加できるレクリエーションを実施して、会員相互間の親睦を図り、私は妻と五

私は、会員相互間のコミュニケーションづくり、明らかな楽しいOB会、さらに健康管理のために、各種レクリエーション活動に取り組むとともに、OB会組織の活性化に取り組んでいます。ハイキングやグラウンドゴルフ、カラオケ等、誰でも参加できるレクリエーションを実施して、会員相互間の親睦を図り、私は妻と五

私は、会員相互間のコミュニケーションづくり、明らかな楽しいOB会、さらに健康管理のために、各種レクリエーション活動に取り組むとともに、OB会組織の活性化に取り組んでいます。ハイキングやグラウンドゴルフ、カラオケ等、誰でも参加できるレクリエーションを実施して、会員相互間の親睦を図り、私は妻と五

私は、会員相互間のコミュニケーションづくり、明らかな楽しいOB会、さらに健康管理のために、各種レクリエーション活動に取り組むとともに、OB会組織の活性化に取り組んでいます。ハイキングやグラウンドゴルフ、カラオケ等、誰でも参加できるレクリエーションを実施して、会員相互間の親睦を図り、私は妻と五

私は、会員相互間のコミュニケーションづくり、明らかな楽しいOB会、さらに健康管理のために、各種レクリエーション活動に取り組むとともに、OB会組織の活性化に取り組んでいます。ハイキングやグラウンドゴルフ、カラオケ等、誰でも参加できるレクリエーションを実施して、会員相互間の親睦を図り、私は妻と五



歳を重ねると家に閉じこもりがちになり運動不足になりますので、会員の方々が喜んで参加できるよう、参加者の希望や年齢を考慮し、インストラクター制度に登録した自覚と意思入れを胸に、今後も継続的に活動を計画していきたいと思っています。

支部だより

只見線の復興を訪ねて 大宮地本宇都宮支部

暑さが未だ終わらない2025年9月、宇都宮支部では13名で東北本線、磐越西線、只見線と普通列車を4回乗り換え、会津宮下駅まで旅をしました。例年は、東日本大震災復興支援と銘打っていた9月の旅ですが、今回は新支部長の勧めもあり、只見線を訪ねることにしました。



この路線は、2011年7月に発生した新潟・福島豪雨により、3本の橋梁が流されるなどの大きな被害を受けて小出～会津坂下間が不通になっていました。また、地元の要望で復旧が、地元の要望で復旧

工事が進められ、2022年10月1日に会津川口～只見間が復旧し、全線で運転が再開されました。

花火観客の駅構内案内誘導 大宮地本小山支部

栃木県小山市の最大のイベントである「第73回小山の花火」が9月23日、思川観覧橋下

流の河畔で開催され、約2万発の色彩豊かな光の競演とともに爆音が人々の心を震わせた。

小山支部ではこの花火大会において、9名の会員が「鉄道OB会」のネームの入ったチョッキに身を包み、統括センター所長の指示のもと、改札付近およびエレベーター前に社員とともに配置につ

てくれた浸水状況から、水嵩の高さが想像できました。帰路は、只見線がゆったりと沿線や初秋の色が少し出てきた会津盆地、磐梯山等を眺めながら、ローカル線の風景を満喫しました。

日本百名城「鉢形城跡」の歴史探歩 八王子地本所沢支部

所沢支部の歩こう会は11月7日、支部会員・準会員の11名でJR八高線寄居駅から4キロ程にある鉢形城跡公園へ向かいました。当日は風もない好天の青空で、暖かく汗ばみ、上着を脱ぐような陽気でした。

鉢形城跡は昭和7(1932)年に国史跡に指定され、現在は鉢形城跡公園として公開されています。

利用者に花火会場への道順や帰りの乗車券の購入などの案内を行った。

そして、花火終了後の引き上げのピークは19時30分頃から始まり、IC専用改札への誘導をはじめ、プラカードを持って「止まらずお進みください」と大きな声で誘導するなど、JR利用のお客

から、水嵩の高さが想像できました。帰路は、只見線がゆったりと沿線や初秋の色が少し出てきた会津盆地、磐梯山等を眺めながら、ローカル線の風景を満喫しました。



の氏康からこの城を任せられました。この櫓形城は、天正18(1590)年の豊臣秀吉による小田原攻めの際には、豊臣方の大軍に包囲されながらも1カ月に及ぶ籠城戦を繰り広げたことでも知られています。

私たちは歴史館で全体の知識を得てから外へ出て、落ち葉を踏みながら散会しました。

永寺の根本中堂天井絵「観音菩薩」。堂内に足を踏み入れると、天井一面に描かれた二頭の龍が迫力ある姿で迎えてくれた。その筆致は力強く、見る角度によつて表情が変わるよう

で、参加者からは「写真で見るとは全く違う迫力だ」と感嘆の声が上がりました。続いて国立科学博物館へ移動し、常設展示を中心に見学しまし

た。日本列島の成り立ちから生命進化の歴史、鉄道技術の発展について、展示まで幅広く、参加者それぞれが興味のある分野に足を止めながら見入っていました。特に、鉄道に携わってきたOBらしく、産業技術史のコーナーでは自然と議論が弾み、往年の経験談が飛び交う場面も見られました。

午後には上野動物園を散策。園内は平日なが

ら多くの来園者で賑わいました。鉄道OB会ならではの落ち着いた交流と学びのある一日となり、支部活動の良い節目となりました。



(口町茂昭)

石綿(アスベスト)による健康被害の補償に関して

元国鉄職員並びにご遺族の皆様へ

旧国鉄の業務に起因して、石綿による疾病(中皮腫、石綿による肺がん、石綿肺、びまん性胸膜肥厚、良性石綿胸水に限る)と認められた元国鉄職員に業務災害補償を行っています。また、石綿による疾病で亡くなられた元国鉄職員のご遺族に対しては遺族補償を行っています。
(時効救済による請求期間は令和14年3月27日まで延長されています)

なお、請求にあたっては疾病発症時のレントゲン・CT画像・医学的資料等が必要になります。また、元国鉄職員に対し、石綿に関する健康診断及び健康管理手帳交付申請のための従事歴証明も行っています。

(お問合せ先) 独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
国鉄清算事業管理部 職員課

045-222-9567

(9:00~12:00 13:00~16:00) 土日祝日、年末年始は除く

(ホームページ) <https://www.jrtt.go.jp> (e-mail) shokuin@jrtt.go.jp

[JRTTの事業]⇒[国鉄清算事業]⇒[業務災害補償・石綿(アスベスト)対策等]



最上地域復興 応援旅行会実施

仙台地本仙台支部

仙台支部は、10月30日に「最上川舟下りと銀山温泉散策日帰りの旅」を、35名が参加して実施しました。

この旅行は、2024年の7月に記録的な豪雨で甚大な被害を受けた山形県最上地域の復興応援と、JRに対する増収貢献策の一環として実施したものです。好天にも恵まれ、仙台駅では仙台駅長はじめ多くの駅幹部社員

に見送られて、一路山形県村山市の「道の駅むらやま」を目指して出発しました。到着してからは一旦休憩した後、最上川の古口港から草薙港まで、船頭の流暢な案内と最上川舟唄を聞きながら、約50分間の舟下りで最上川流域の紅葉を楽しみました。

最上川船頭の歌散紅葉

守敏

そして、この旅の楽しみの一つである昼食は、新そば祭りで賑わう蕎麦屋に行き、大石田産新そば粉で手打ち

した、ほどよき硬さの板そばを賞味して、地元の名酒で乾杯、参加員相互の親睦を深めました。

帰りは、インバウンド客などで賑わう銀山温泉の情緒ある温泉街



を散策し、NHK連続テレビ小説「おしん」の撮影された旅館である能登屋の女将の歓迎を受け、記念の撮影をして思い出のページとしました。

参加者からは、「山形は仙台から近く、温泉や蕎麦を楽しみ

市原支部 「ロー画展」開催

千葉地本市原支部

(菊地稔)

市原支部「ロー画を愛する会」5名は、1年間のまとめとして1月11日から18日まで、第11回「ROB会市原支部ロー画展」を市原市内ギャラリー和更堂で開催しました。

今回はロー画15点・ガラス絵9点を展示したところ、市内各地から84名の方が来館され、ロー画・ガラス絵をご覧になり、ロー画とはどういうもので、その作成手法はどうなっているのか、について尋ねておられました。

ロー画はローソク、クレヨン、墨汁といった身近な画材で作成することができ、しかも出来上がりは油絵とは異なる独特な厚みのあ

青森津軽と 五能線の旅

仙台地本新庄支部

新庄支部では令和7年秋の旅として、津軽地方と五能線を巡る旅を10月7日に10名の参加で実施しました。

目の覚めるような秋晴れの中、新庄駅を陸羽西線の代行バスで出発し、羽越本線余目駅から特急「いなほ号」に乗車、秋田で「スーパーつがる号」に乗り換え

ました。駅弁の昼食を食べながら談笑するなど、久しぶりの鉄道旅

行となりました。弘前駅で下車し「津軽藩ねぶた村」へ。昔語り

と津軽三味線による民謡ショウに酔いしれ、絶調のひとときを味わいました。夏祭りで使用した大型の祭り屋台にもウツトリ。この日は鰺ヶ沢温泉に宿泊し、旅の疲れを癒しました。

夕食では、海に沈む夕日を眺めながら、日頃のOB会活動やSL広場での作業などを語り合い、和気あいあいの宴会後に休みました。



外国人の旅行者も多く、世界遺産にも選ばれた名所に心打たれました。また、40年余りの鉄道生活の中で、五能線を一周したのも初めての経験で、車窓から見る絶景もまた楽しさが倍増したように思いました。

十二湖駅からは「リゾートしらかみ号」で秋田に行き、奥羽本

神山地観光です。「森の物産館キョロロ」を経て、青池を散策。真つ青な水沼、目の覚めるような紅葉が広がり、

から五能線に乗って、十二湖駅で下車し、白のOB会活動やSL広場の作業などを語り合い、和気あいあいの宴会後に休みました。

2日目は、鰺ヶ沢駅



【出展者】
渡邊敏雄 島海利雄 神尾昌明 野澤達三郎 高澤力

佐野支部は、12月から1月にかけての年末年始期間中における鉄道輸送の安全を願っ

会員手製の 門松を寄贈

高崎地本佐野支部

(渡辺敏雄)

一つにしました。



て、JR足利駅の安全の守り神社で足利市中心部にある伊勢神社に門松を寄贈しました。

支部長自ら地元のボランティア団体の門松技能継承研究会に入会し、半年間の研修で技を磨いて伊勢流派の門松技能を修得。会員の協力を得て、すべて手作業で2カ月かけて完成させました。

清々しい太い青竹3本をわら縄で締った高さ130センチのきりつとした門松は、台座の中に一晚青竹を炭

焼きした竹炭を詰め合

わせ、胴回り100センチの堂々とした姿で、令和7年12月24日から令和8年1月16日までの間、新年を迎える雰囲気醸し出した門松一基が、鳥羽伊勢神宮の流れを組む伊勢神社境内入り口に安置されました。

OB会の安全の願いが通じたのか、両毛線は年末年始輸送で、お客さまの傷害事故も大きな運転トラブルもありませんでした。



(高橋孝)

投稿募集

「鉄道OB新聞」では、原稿を随時募集しています。「読者のひろば」は800字程度でテーマは自由、「支部だより」は支部の活動を200～400字程度でなるべく写真を1枚添えて、所属支部、氏名、年齢、住所、電話番号を明記して下記宛て先までメールまたは郵送でお送りください。

✉メールアドレス：tougou@tetsudo-ob-honbu.com

(原稿はwordファイルなど、写真はJPEGファイルなどをEメールに添付してお送りください。添付ファイルの最大容量は合計8メガまでです。)

郵 送：〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-9-1
日本鉄道OB 会連合会本部「鉄道OB 新聞」編集部

短歌

坂井修一選

【天】 福知山 桐村 博之
老婆の寝息確かめ灯を消して明日もかくあれ夢もかくあれ

評 「明日も」に続く「夢も」が響いてくる。老夫婦の折りが強く聞こえる一首となった。

【地】 米子 松島 道幸
干し大根ゆがく蒸気のいきおいにSLの勇姿脳裏に浮かぶ

評 料理の「コマ」にも、かつての蒸気機関車の姿が見えてくる。「勇姿」がなつかしい。

【人】 氷上 荻野 洋子
爺の漕ぐ潮の匂いする自転車荷台に積みし水仙の束

評 海辺の風景。名詞を連ねる中、視覚と嗅覚の働きが伝わり、早春の気分が出た。

佳作

【天】 安中 大久保麗子
さはがしく山越しの風吹く寺にしがみみて覗く節分草の花

魚沼 星野 武二
たくましく枝を張りたる日日草
花弁小さく霜月に咲く

盛岡 餘目 忠吉

俳句

大沢美智子選

【天】 郡山 遠藤 恭子
春宵の仏彫彫りゆく生命線

評 仏像の掌を見ての発想だろうか。春灯に照らされた仏師の緊張した指先と彫刻刀の先まで明瞭に見えて来る。生命線に絞り込んだ感性豊かな発想と独特の表現に感動した。

【地】 長野中央 松本 宏要
春愁や廃校の名の信号機

評 通学の横断歩道に設置された信号機。学校が閉校に

あと少し生きてみたいと退院す九十六歳口も達者に

江戸川 小野寺みさの
江戸川の春の景色を見て立ちぬ夫逝きてより四十年過ぐ

高田 丸山 玲
息をととのへ出番待つ間を深呼吸
吸煙々と輝る舞台の袖に

藤沢 石井 繁子
こまごまと亡き父書きし大福帳読めばなつかしわが文字に似て

仙台 高橋 永喜
現役よ覚悟は良いか定年後生き方然りお金の事も

白河 桑井キヌ子
軒先に両手をついて膝を折り草取り進む老いたる今を

高槻 吉田 穰
C62の汽笛を鳴らせ高らかに京都鉄道博物館に

佐倉 浅井 芳夫
ゆつたりと窓際の席脚伸ばし早春の野をひとり楽しむ

新発田 泉 克弘
原発の鉄塔並びて山を越え首都東京の夜空を照らす

新庄 斎藤 俊治
凍り付く構内作業三交代湯たんぼ抱いて仮眠をとりぬ

仙台 田中 守敏
浄水器買ひ換へたれば新しき家

に越したる心地するなり

米沢 山本 博
五線譜の波を追いかけてくみ立てて音の世界よ心ゆくまで

福知山 田中 一郎
子の家族揃い帰りの十五人てんやわんやの正月祝い

諏訪 吉田 廣
幼子の快復折り病室に折り鶴一羽そばに寄り添う

郡山 遠藤 恭子
入院の友の空色マニキュアが命を削るごとく失せゆく

川柳

大野征子選

【天】 盛岡 櫻川 嘉夫
人生に無駄骨なぞなき海鼠切る

評 長い間生きてきて無駄かなと思う失敗も数多ありましたが、今思えば良い経験になっていたのです。下五の「海鼠切る」が意外性がありとても良いです。巧みな表現になっています。

【地】 新庄 斎藤 俊治
カード増え病院専用ケース買う

評 カードが増えて何のカードかなと思つたら病院専用とは、ちょっと寂しいですが、ユーモア句としてまとまっています。これ以上増やさないと

ことを願っています。着想が良いですね。

【人】 川崎 佐藤 正義
スポーツジム車で行ってチャリをこぐ

評 とても楽しい句ですね。スポーツジムには車で行つてそこで自転車こぎをしているのですね。私も車で送つてもらつて通つていたことがあります。ジムで汗をかいている様子が浮かびます。

【客】 長野中央 高木 敬介
靴下を片足立ちで履けた朝

【客】 岩国 松村 東一
老いはれてかけてる眼鏡探す朝

【客】 新発田 泉 克弘
手に取れば元気ですよという賀状

【客】 舞鶴 松宮 宏昌
里に熊出たと有線うろたえる

【客】 福知山 田中 一郎
ピカピカのランドセル背に靴おどる

佳作

名取 大久 年美
妻米寿俺は麦めし妻に寿司
塩尻 明間 進
日に五勺欠かすことなく夫婦酒
香川 中川 義博
一月にシマヘビ吉祥遍路みち
諏訪 吉田 廣
日向ぼこ昔話しに笑みが出る
長野北 桜井 章一

孫五人帰り妻とのグータッチ

小山 谷津田敏博
古民家を支える柱黒光り

仙台 高橋 永喜
歳時記を味方に創り出す仕事

新津 拝野 文雄
高所まで剪定できた手と足よ

会津 佐藤 高志
テレビでは食と旅とが幅利かせ

高田 越前 邦夫
杖を突き気弱になつて賀状止め

【客】 賀茂 三村 進
嫁自慢老婆二人の競い合い

秋田 小林 隆
亡き母が鴉の声で忠告か

柏支部と宇都宮支部の交流会で大谷観音・大谷石資料館を見学

東京地本柏支部・大宮地本宇都宮支部

柏支部では、従来から宇都宮支部と交流を図ろうと計画していましたが、ようやく実現され、素晴らしい快晴の11月5日(水)、両支部から14人が参加して大谷地域の見学を実施しました。

JR宇都宮駅で9時30分に集合し、路線バスで約40分の距離にある、紅葉の始まった大谷地域に到着しました。最初に「大谷寺」の境内にある大谷石で造られた「平和観音」(27メートル)を拝観。記念写真を撮つて、平和観音の後ろにある階段で上に登り、直立する石仏の背中あたりから平和観音の前の広場を見下ろしたり、右手にひっそり立たたずむ元「山本園大谷グラ

ンドホテル」の廃墟を見ました。そして仁王門を通り、大谷寺本堂では、日本最古の石仏(平安時代に作られた千手観音)「大谷観音」を拝観したほか、続いて数々の石仏も拝観しました。

次は、「大谷寺」から10分ほど歩いた所にある「大谷石資料館」です。平日にもかかわらず観光客が大勢来館していました。ここでは、大谷石採掘に関する歴史をパネルや写真で分かりやすく紹介してくれました。あわせて、採掘道具や運搬具の実物が見られました。

地下では、大谷石採掘跡が公開されていました。大正8(1918)年から昭和61年まで採掘されていて、広さは約2万平方メートル、深さは平均30メートルの巨大な地下宮殿に魅了されました。思っていた以上に規模が大きいのに驚きました。また、採掘された大谷石の以前の運搬方法について、歴史的な事実としてイラスト付きの資料を宇都宮支部長が提供してくださり、勉強になりました。

係の人からは、この地下の音響のよさ

を生かして、時々コンサートや映画の撮影にも使われていると説明があり、そのような景観を安時代に作られた千手観音)「大谷観音」を拝観したほか、続いて数々の石仏も拝観しました。

次は、「大谷寺」から10分ほど歩いた所にある「大谷石資料館」です。平日にもかかわらず観光客が大勢来館していました。ここでは、大谷石採掘に関する歴史をパネルや写真で分かりやすく紹介してくれました。あわせて、採掘道具や運搬具の実物が見られました。

地下では、大谷石採掘跡が公開されていました。大正8(1918)年から昭和61年まで採掘されていて、広さは約2万平方メートル、深さは平均30メートルの巨大な地下宮殿に魅了されました。思っていた以上に規模が大きいのに驚きました。また、採掘された大谷石の以前の運搬方法について、歴史的な事実としてイラスト付きの資料を宇都宮支部長が提供してくださり、勉強になりました。

係の人からは、この地下の音響のよさ

を生かして、時々コンサートや映画の撮影にも使われていると説明があり、そのような景観を安時代に作られた千手観音)「大谷観音」を拝観したほか、続いて数々の石仏も拝観しました。

次は、「大谷寺」から10分ほど歩いた所にある「大谷石資料館」です。平日にもかかわらず観光客が大勢来館していました。ここでは、大谷石採掘に関する歴史をパネルや写真で分かりやすく紹介してくれました。あわせて、採掘道具や運搬具の実物が見られました。

地下では、大谷石採掘跡が公開されていました。大正8(1918)年から昭和61年まで採掘されていて、広さは約2万平方メートル、深さは平均30メートルの巨大な地下宮殿に魅了されました。思っていた以上に規模が大きいのに驚きました。また、採掘された大谷石の以前の運搬方法について、歴史的な事実としてイラスト付きの資料を宇都宮支部長が提供してくださり、勉強になりました。

係の人からは、この地下の音響のよさ

を生かして、時々コンサートや映画の撮影にも使われていると説明があり、そのような景観を安時代に作られた千手観音)「大谷観音」を拝観したほか、続いて数々の石仏も拝観しました。

次は、「大谷寺」から10分ほど歩いた所にある「大谷石資料館」です。平日にもかかわらず観光客が大勢来館していました。ここでは、大谷石採掘に関する歴史をパネルや写真で分かりやすく紹介してくれました。あわせて、採掘道具や運搬具の実物が見られました。

地下では、大谷石採掘跡が公開されていました。大正8(1918)年から昭和61年まで採掘されていて、広さは約2万平方メートル、深さは平均30メートルの巨大な地下宮殿に魅了されました。思っていた以上に規模が大きいのに驚きました。また、採掘された大谷石の以前の運搬方法について、歴史的な事実としてイラスト付きの資料を宇都宮支部長が提供してくださり、勉強になりました。

係の人からは、この地下の音響のよさ

を生かして、時々コンサートや映画の撮影にも使われていると説明があり、そのような景観を安時代に作られた千手観音)「大谷観音」を拝観したほか、続いて数々の石仏も拝観しました。

次は、「大谷寺」から10分ほど歩いた所にある「大谷石資料館」です。平日にもかかわらず観光客が大勢来館していました。ここでは、大谷石採掘に関する歴史をパネルや写真で分かりやすく紹介してくれました。あわせて、採掘道具や運搬具の実物が見られました。

地下では、大谷石採掘跡が公開されていました。大正8(1918)年から昭和61年まで採掘されていて、広さは約2万平方メートル、深さは平均30メートルの巨大な地下宮殿に魅了されました。思っていた以上に規模が大きいのに驚きました。また、採掘された大谷石の以前の運搬方法について、歴史的な事実としてイラスト付きの資料を宇都宮支部長が提供してくださり、勉強になりました。

◇短歌、俳句、川柳とも期間中それぞれの種類ごとに分けたハガキ1枚に1首(句)まで(俳句は当季雑詠のみ)。未発表の自作に限ります。

◇作品の横に所属支部、氏名(フリガナ)、年齢、住所、電話番号を明記、〒100-0005東京都千代田区丸の内1-9-1、日本鉄道OB会連合会本部鉄道OB新聞編集部へ。

はがき表面に「短歌」「俳句」「川柳」の種別を赤書きしてください。

◇5月29日締め切り(当日消印有効)。入選作品は7月号に掲載します。

【天】入選作品には記念品及び掲載紙をお送りします。

2026年はJR発足から40年目の年となりますので、『鉄道OB新聞』では2026年5月号から複数回にわたり、各鉄道OB会でJR発足当時のご苦労等を振り返っていただき、ご寄稿をいただく予定でおります。また、当時発行した『鉄道OB新聞』の一部紙面もあわせて掲載をいたしますので、鉄道OB会の皆様も当時を思い起こしながら、ご一読いただければ幸いです。(阿部)

2026年5月号から複数回にわたり、各鉄道OB会でJR発足当時のご苦労等を振り返っていただき、ご寄稿をいただく予定でおります。また、当時発行した『鉄道OB新聞』の一部紙面もあわせて掲載をいたしますので、鉄道OB会の皆様も当時を思い起こしながら、ご一読いただければ幸いです。(阿部)

2026年5月号から複数回にわたり、各鉄道OB会でJR発足当時のご苦労等を振り返っていただき、ご寄稿をいただく予定でおります。また、当時発行した『鉄道OB新聞』の一部紙面もあわせて掲載をいたしますので、鉄道OB会の皆様も当時を思い起こしながら、ご一読いただければ幸いです。(阿部)

2026年5月号から複数回にわたり、各鉄道OB会でJR発足当時のご苦労等を振り返っていただき、ご寄稿をいただく予定でおります。また、当時発行した『鉄道OB新聞』の一部紙面もあわせて掲載をいたしますので、鉄道OB会の皆様も当時を思い起こしながら、ご一読いただければ幸いです。(阿部)

2026年5月号から複数回にわたり、各鉄道OB会でJR発足当時のご苦労等を振り返っていただき、ご寄稿をいただく予定でおります。また、当時発行した『鉄道OB新聞』の一部紙面もあわせて掲載をいたしますので、鉄道OB会の皆様も当時を思い起こしながら、ご一読いただければ幸いです。(阿部)

2026年5月号から複数回にわたり、各鉄道OB会でJR発足当時のご苦労等を振り返っていただき、ご寄稿をいただく予定でおります。また、当時発行した『鉄道OB新聞』の一部紙面もあわせて掲載をいたしますので、鉄道OB会の皆様も当時を思い起こしながら、ご一読いただければ幸いです。(阿部)

2026年5月号から複数回にわたり、各鉄道OB会でJR発足当時のご苦労等を振り返っていただき、ご寄稿をいただく予定でおります。また、当時発行した『鉄道OB新聞』の一部紙面もあわせて掲載をいたしますので、鉄道OB会の皆様も当時を思い起こしながら、ご一読いただければ幸いです。(阿部)

2026年5月号から複数回にわたり、各鉄道OB会でJR発足当時のご苦労等を振り返っていただき、ご寄稿をいただく予定でおります。また、当時発行した『鉄道OB新聞』の一部紙面もあわせて掲載をいたしますので、鉄道OB会の皆様も当時を思い起こしながら、ご一読いただければ幸いです。(阿部)

2026年5月号から複数回にわたり、各鉄道OB会でJR発足当時のご苦労等を振り返っていただき、ご寄稿をいただく予定でおります。また、当時発行した『鉄道OB新聞』の一部紙面もあわせて掲載をいたしますので、鉄道OB会の皆様も当時を思い起こしながら、ご一読いただければ幸いです。(阿部)

2026年5月号から複数回にわたり、各鉄道OB会でJR発足当時のご苦労等を振り返っていただき、ご寄稿をいただく予定でおります。また、当時発行した『鉄道OB新聞』の一部紙面もあわせて掲載をいたしますので、鉄道OB会の皆様も当時を思い起こしながら、ご一読いただければ幸いです。(阿部)

2026年5月号から複数回にわたり、各鉄道OB会でJR発足当時のご苦労等を振り返っていただき、ご寄稿をいただく予定でおります。また、当時発行した『鉄道OB新聞』の一部紙面もあわせて掲載をいたしますので、鉄道OB会の皆様も当時を思い起こしながら、ご一読いただければ幸いです。(阿部)

2026年5月号から複数回にわたり、各鉄道OB会でJR発足当時のご苦労等を振り返っていただき、ご寄稿をいただく予定でおります。また、当時発行した『鉄道OB新聞』の一部紙面もあわせて掲載をいたしますので、鉄道OB会の皆様も当時を思い起こしながら、ご一読いただければ幸いです。(阿部)